

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	頚椎症性脊髄症に対する椎弓形成術の術後鎮痛の鎮痛効果と副作用の比較 フェンタニル PCA からモルヒネ PCA への転換
研究責任者 (所属科名)	田中 裕之, 朝山 京子(麻酔・集中治療科)
本研究の目的 ・意義	当院では、頚椎症性脊髄症に対する椎弓形成術の術後疼痛管理として患者自己調節鎮痛法(PCA)を行っています。従来はフェンタニルを用いていましたが、新規にモルヒネを用いた PCA を導入したため、モルヒネの鎮痛効果と副作用についてフェンタニルと比較するために研究を行います。
調査方法 ・研究期間	デザイン:後ろ向き観察研究 データ収集期間:2024年12月~2025年4月 研究期間:2026年2月までを予定しています。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2024年12月~2025年4月までに、当院にて頚椎症性脊髄症に対する椎弓形成術の手術後にPCAを受けた方 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録(患者さんの基本情報、投与薬剤の量、痛みの評価、副作用の出現、他医師記録、看護記録など)を利用します。
個人情報の 取り扱い	利用する情報から氏名や患者番号などの患者様を直接特定できる個人情報 は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:082-815-5211 担当者:田中 裕之、朝山 京子(麻酔・集中治療科)
備考	